

九州セミナーを県立高等学校で開催



12月14日(土)佐賀県神埼市にある佐賀県立神埼清明高校で母校との連携による「社会福祉セミナーin九州」を開催しました。

会場の「神埼清明高校」(尊田益弘校長、生徒数468人)は、大正2年に開校、今年で創立111年目を迎える歴史と伝統を誇る学校です。総合学科制度を導入しており、希望する進路に応じて選択した6つの系列で専門科目を学び将来の夢の実現を目指します。

「生活・福祉系列」(在籍数1~3年生・63人)は、県内で3校ある「介護福祉士養成課程実施高校」であり、令和元年度全国高校生介護技術コンテストで日本一に輝いた全国トップレベルの福祉系高校です。

特別講演・潮谷義子さんに福祉を学ぶ

本セミナーには長く福祉の現場に携わり、貧困や障害で苦しむ人々に寄り添い続けている元熊本県知事の潮谷義子さんを特別講師にお招きしました。

潮谷さんは、佐賀市生まれ。佐賀高(現・佐賀西高)から日本社会事業大学に進学。1962年卒業後は佐賀県庁で生活保護のケースワーカー、大分県庁で生活保護行政に関わり72年熊本市の社会福祉法人慈愛園で乳児ホームの職員になり、様々な事情がある子どもの成長に触れられてきました。

講演では、「これまでの半生」や「日本社会の構造変化」そして知的障害者のスポーツの祭典「スペシャルオリンピックス(SO)の活動」をご自身の体験を交えて紹介され、「Be with all」誰もが笑顔で暮らせる社会をめざしましょう!と締めくくられました。



今回のセミナーには同校生活福祉系列の2~3年生25人も参加しました。

【以下は参加した生徒の感想を紹介します】

□今回のお話を聞き、たくさんの方々の活動が、私たちの未来をつくってくださっていると感じました。高校で福祉を学んでいることに感謝し、支援を必要とされる方々に寄り添える大きな力を身につけたいです。(生活福祉系列2年生 野間未紘)



□潮谷先生の講義を受けて、福祉を社会の中心に置くことで多様な人々が共に暮らす社会の実現につながると感じました。またスペシャルオリンピックスの理解を深めることができました。(生活福祉系列3年生 堤千紗)



すべての子どもの健やかな育ちをまもるために



初めて!の在校生による実践報告

また、セミナーでは、有村大士さん(社会福祉学部教授。鹿児島県出身)から、2023年4月発足した子ども家庭庁の子ども家庭審議会において子どもの健やかな成長や家庭における支援について何が問題とされ、議論されたのか。委員の立場からの具体的な話があり、実践報告では、日本社会事業大学ボランティアサークル「オレンジクレヨン」がオレンジリボン運動とオレンジクレヨンが学内や地域での行っている児童虐待防止活動の取組を紹介。児童虐待のない社会を目指してできることから一緒に始めましょう!と呼びかけました。

神埼清明高校の原慶介さん(福祉科教諭)は次のように語っています。

「高校で学ぶ福祉は介護と思われているところがありますが、社会福祉全般を学んでいます。生徒たちは子どもの福祉から障がい、貧困など様々な福祉分野に興味をもち、実践活動をしながら学ぶことにとっても積極的です。今回の機会をいただき、専門分野に関する関心は一層高まっています。福祉を志す生徒たちから、暖かい福祉の未来が感じられました。今後とも高校福祉へのご指導をどうぞよろしくお願いいたします。」



同窓会スタッフメンバー

3年目を迎えた 同窓会 社会福祉セミナープロジェクトの取り組み

社大同窓会



同窓会×大学
パートナーシップ推進

2025年社会福祉セミナーは
四国と大阪で開催されます

1月四国セミナー(松山市・えひめ共済会館)
5月大阪セミナー(大阪市天王寺区・アウィーナ大阪「3P」に案内)

同窓会では、社会福祉セミナーによる大学とのパートナーシップの推進に取り組み、卒業生同士での活動だけでなく、在校生とも一緒になって今後も社大教育と実践をしっかりとつなげていきます。
関係各位の引き続きのご支援をよろしくお願いいたします。



今年度の学園祭テーマ

10月26日・27日 第53回社大祭



「社大ダヨ!! 全員集合!!」



ゆるキャラじゃんけん大会 清瀬市・東村山市とコラボ



みんなのお笑いライブ くるめ・ザ・コメディ



オープニングイベント

お知らせ
みなさんにお願ひがあります!

**今年の社大祭は
フリーマーケット開催!**

【期間】10/26(水)~10/27(木)
【場所】A101教室

いらなくなったお洋服や雑貨をお譲り下さい!
*可成りお値下げいたします!
*ゴミ捨てさせていただきます!

明日から!
皆様の思い出!
引き取らせてください!!



映画『道草』上映会



「ぶち合わせ太鼓」新しい同好会で学祭初出演です!



大人気だったヤギとの交流。癒やされました

11月9日 学部80年度生(24期)同期会



渋谷ガーデンホール 参加者39人 コロナ明け5年振りの再会

同期会開催報告

11月8日 1972年(学部16期)入学者同窓会



南国酒家原宿本店 参加者43人 オプションツアー『旧校舍跡地巡り』

11月30日

学部96年度生(40期)同期会



大学厚生棟2階喫茶室



2025/5/24

同窓会×大学による 社会福祉セミナーin大阪

母校との連携による社会福祉セミナーを開催します。どなたでも参加いただけますので、ご友人、職場の皆さまなどお誘い合わせのうえ、ふるってご参加ください。

【テーマ】「地域共生社会をめざして」

～ピアサポーター活動をとおり、障害者支援、包括的支援のあり方を考える～

セミナー

基調講演

「地域共生社会を構築していくための支援のあり方」

～高齢者、障害者、子ども…
すべての人たちの
包括的支援をめざして～



曾根 直樹 氏

日本社会事業大学
専門職大学院教授

精神障害者ピアサポーター
活動紹介・問題提起

I 体験をもとにした手作り紙芝居
『はるだよ』と体験談
ピアサポーター「チームみずいろ」

II 「私がピアサポーターを
始めた理由」

地域活動支援センター泉南フレンド
ピアサポーター 長島 陽一 氏

座談会

「障害者をはじめ、すべての人々の
包括的支援を考える」

基調講演者
ピアサポーター 「チームみずいろ」
「チームみずいろ」コーディネーター
泉南フレンド ピアサポーター

司会 ～ 西野 伸一郎
(同窓会大阪府支部事務局長)

番外編 講演 卒業生からのメッセージ

「こんな社大生もいた」

宮本 信芳 氏(居酒屋『グランマ号』店主 学部25期1985年卒)

日時

2025年 5月 24日(土) 13:30～16:30

会場

アウィーナ大阪 3階「ニ上」

大阪府大阪市天王寺区石ケ辻町19-12

／近鉄「大阪上本町」駅徒歩3分

／大阪メトロ谷町線または千日前線「谷町九丁目」駅徒歩10分

開催形式

会場とオンラインの両方で開催 会場参加40名/ZOOM参加50名
参加費無料、どなたでも参加できます。



お申込方法

下記の「お申込フォーム」よりお申込みください。

<https://fs220.xbit.jp/b646/form2/>

※お申込みいただいたメールアドレスにZoomによる

オンライン参加のためのURL又はご来場の案内等をお知らせします。

「同窓会HP」からも申込みできます。⇒<https://jcsw-alumni.com/>

お申込期間

2月15日から5月15日まで

10月14日

専門職大学院開設20周年記念式典・パーティー



専門職大学院開設20周年記念式典・パーティー開催報告

【日時】 令和6年10月14日(月・祝) 17:00～19:00

【場所】 御茶ノ水ソラシティカンファレンスセンター2階 テラスルーム

◆来賓：京極高宣元学長・初代研究科長、神野直彦前学長、大島巖元学長、三輪建二氏、蒲原基道氏

◆元教員：若穂井透第4代研究科長、古屋龍太第7代研究科長、宮島清元教授、矢部正治元教授、田島誠一元教授、新津ふみ子元教授

◆参加者数(72名)：【来賓・役員・元教員13名、修了生・在学生49名、担当教職員等10名】

80周年記念事業

デザイン・夢

「こんな80周年にしたい！」



2026年の母校創立80周年に向けて、在校生との協働による記念事業の取組を推進していきます。



日本社会事業大学 80周年記念事業



在校生・卒業生が一体となって
企画を進行中です！



昔の先生に会いに行く！
インタビュー企画



歴代寮生やサークル
メンバーで語ろう！
交流会



気になる企業と
たくさん交流！



過去と現在を繋げるよう
記念事業を企画していきます！



在校生代表メンバープロフィールカード

80周年記念事業 実行委員 Profile

名前: 石川 結莉

出身地: 東京都

サークル: 学生自治会

趣味・特技: トランペット、マナー

好きなもの: 納豆、お餅

同窓生へのメッセージ:
2004年度、JCSWの卒業生として
45年経ちました。
20周年の節目にJCSWの仲間と
で、卒業生に挨拶です！

80周年記念事業 実行委員会 Profile

名前: 村瀬 葵

出身地: 東京都

サークル: 自治会

趣味・特技: 音楽鑑賞、ダンス

好きなもの: シェイカー、スイーツ

一言メッセージ:
皆様の活躍が、母校に
これからの卒業生への励みと
誇りに繋がりますように
思います。

80周年記念事業 実行委員会 Profile

名前: 一条 海斗

出身地: 福島県 福島市

サークル: (元) 学生自治会

趣味・特技: 描画、音楽鑑賞

好きなもの: 猫

一言メッセージ:
80周年記念事業が全員にと
心に残る良い思い出になるよう、
精一杯頑張らせていただきます。
どうぞよろしくお願いいたします!!

80周年記念事業 実行委員会 Profile

名前: 宮東 英維

出身地: 神奈川県川崎市

サークル: 学生自治会他

趣味・特技: 料理と散髪と読書

好きなもの: なんかも健康になりそうな
ご飯を食べること

一言メッセージ:
現在私は卒業生ですが、仕大80周年に
向けて応援が好きな仲間でした！
大学の雰囲気や自分たちがいた頃から
どんどん変わっていく中で、現
在の学生と卒業生、過ごした時代の差
が人たちが共に喜び上がる機会を作
ればと思って頑張ります！

80周年記念事業 実行委員会 Profile

名前: 渡邊 都

出身地: 茨城県行方市

サークル: 学生自治会

趣味・特技: 音楽鑑賞

好きなもの: 甘いもの、スイーツ

一言メッセージ:
様々な方が考慮される
この機会に、関わること
ができて、嬉しく
思います。
よろしくお付き合いします。

母校の支援と同窓生のネットワークを生かすため、あなたの同窓会への参加をお待ちしています。

地域のさまざまな資源の共生を推進する 「社大の農的空間創出（新農福連携）プロジェクト」

「多心型福祉連携」は、多種多様な主体が対等の立場で自発的に連携し協力・補完し合いながら地域社会が抱える福祉問題を解決しようとする取り組みである。母校学長室の多心型福祉連携センターでは、多心型福祉連携の一形態として、広い意味での「農

福連携」のあり方を検討し、「多世代交流を視点とした農的活動により地域のさまざまな資源の共生を推進する」研究を行っている。『社大の農的空間創出（新農福連携）プロジェクト』と名付けられた社大初の画期的な取り組みを紹介する。

「農的空間創出」「新農福連携」とは何か。

まず、一般的な農福連携の概念、経緯であるが、もともと農福連携は、農山村の地域振興と障害者の雇用・就労の確保という異なった分野の出会いから始まったとされているが、現在では労働力不足と就労機会の確保だけでなく、幅広い機能・効果が認識されるようになっていく。

例えば、①耕作放棄地が再生し地域の活性化につながった地域づくりの側面②「農」がもつ多様な分野や対象者との親和性から児童・高齢者などあらゆる福祉分野と接点をつくることができ、「農」を核とした福祉分野の横断的な結合を促す側面など、新たな可能性が広がりがつつある。

この取り組みについては、国も推進を後押ししている。「制度面」の動きでは連携を推進する制度の改革や創設がなされ、国の予算による事業などさまざまな制度が存在する。

また、農福連携等の「定義」については、その言葉を使っている主体によって異なる定義がされているが、農福の連携という言葉が使われ始めたのは2010（平成22）年頃からであり、その歴史はそれほど長くないが、最近では定着しつつあり、新聞やテレビ等でも取り上げられるようになってきている。

社大におけるプロジェクトの取り組み

日本社会事業大学では、前述の多心

型福祉連携センターにおいて、福祉援助学科永嶋昌樹准教授のゼミ研究として「農作業をツールとした高齢者」ともとの世代間交流活動」がスタートしている。初年度の2023年度は、活動場所や活動機会を整えることが主で、実際の世代間交流まで行えていなかったが、2024年4月から保育園児や老人会との交流に参加した学生によるサークル「多世代交流同好会」の設立もあり徐々に本格的な稼働となりつつある。

この取り組みについて、永嶋昌樹さんは次のように語っています。「社会福祉にはさまざまな活動がありますが、農的空間を活用して世代間の交流を促す活動もそのひとつです。福祉とは関係ないように見える園芸活動やヤギの飼育を、なぜ福祉の大学で行うのか。実際にヤギとふれあいながら、「農」を通じた社会の課題を考えています。」

2年目からの取り組み 「通称：ヤギのソーシャルワーク」に向けて

この取り組みは、農林水産省の「令和6年度農山漁村振興交付金（都市農業機能発揮対策（都市農業共生推進等地域支援事業））都市農地創設支援型」に採択され、2024年7月よりこれを『社大の農的空間創出（新農福連携プロジェクト）』と名付けられ、大学キャンパス内における保育園と老人クラブとの交流活動や、ヤギを飼育することによる人と人とのインタラクティブの検証等を実施している。

社大の農的空間創出（新農福連携）プロジェクト・2024年度活動メモ

- ◆4～5月 保育園児によるジャガイモ苗のプランター植え。大学キャンパス内にプランターを運び、当番制で水やり
- ◆6月 シニアクラブと保育園児と共同で収穫。ジャガイモ収穫後は、さつまいもの栽培（収穫したら保育園で焼き芋にする予定）
- ◆7月 近くの小学校で飼育しているヤギを借りて、大学キャンパス内を散歩しながらヤギに雑草を食べてもらうことや、ゼミ生以外の学生と交流も図る。また、大学のオープンキャンパスで実際にヤギとふれあいながら、「農」を通じた社会の課題を考える



- ◆9月 東京都社会福祉協議会・同高齢者福祉施設協議会主催の第19回高齢者福祉実践・研究大会「アクティブ福祉in東京'24」において実践・研究発表。「奨励賞」を受賞。
- ◆10月 大学内でヤギ2頭の飼育を始める（長野県伊那市の牧場から2カ月間の貸与）。社大祭のイベントに出店。名前の募集。
- ◆11月 近隣保育園で焼き芋会（園児・大学生・高齢者による多世代交流の場の実現）



これからのプロジェクトの活動展開に期待 【学生参加者のコメント】

□2023年4月からキャンパス内の空閑地を開墾し、世代間交流活動を行う拠点づくりを始めました。高齢者と子どもだけではなく、子どもの保護者、近隣住民の皆さんたちが、自然に交流できるような活動を実施することで、地域共生社会の構築の一助となることを目指しています。門脇敏紀さん（永嶋ゼミ・プロジェクトリーダー／福祉援助学科3年）

□老人会や保育園と共に野菜の栽培や収穫作業を行うことで、高齢者と園児の世代間交流が促進されます。近隣の保育園児、地域の老人会、大学生など多様な人々と関わり交流する機会・環境を作っていきます。大竹海優さん（多世代交流同好会・代表／福祉援助学科3年）

今後このようなプロジェクトが大学の授業の「教養科目」へ取り入れられる等により、「多様化する地域の生活課題」や「地域コミュニティとの協働」への学びを深める機会になることも可能と思われる。これからも多方面での活動展開を期待したい。



大竹さん、永嶋さん、門脇さん

【多世代交流同好会】

ヤギの飼育や畑活動などを通じて、地域での多世代の交流を一緒に盛り上げましょう！

活動日時：随時 活動場所：学内キャンパス。近隣の保育園（清瀬市立第7保育園）やシニアクラブ（竹水会：竹丘老人いこいの家）など 代表 大竹海優（3年） 顧問 永嶋昌樹准教授
2024年5月現在メンバー登録：2年3人、3年4人、4年8人、計15人
Gmail連絡先アドレス syadaiyagi@gmail.com

母校の支援と同窓生のネットワークを生かすため、あなたの同窓会への参加をお待ちしています。

JCSW ネットワークを広げよう

同窓生が活躍する福祉現場の最前線から

～OB・OG応援メッセージ～

同窓会の『福祉現場で活躍するOB・OGとの交流会』に参加いただいている大田幸陽会を訪問しました。



Ota-Koyokai social welfare corporation

社会福祉法人大田幸陽会

<https://ota-koyokai.or.jp/>

大田区圏域に特化し、多様な福祉ニーズに対応

大田幸陽会は、大田区手をつなぐ育成会(知的発達障害児者の親の会)を母体として1993年(平成5年)3月に設立されました。昨年の設立30周年にあたり、法人理念を「すべての障がい者からすべての人に広げ、すべての人に陽光が燦々とそそぎ…」と見直し、「人には職員を含むものとしました。73万都市、羽田空港のある大田区に根ざし、「利用者」と真ん中」においた相談のネットワークで各事業を連結・経営しています。

Q. 皆さんのプロフィールをお聞かせください

佐藤功さん 新潟県出身。専務理事・事務局長。1979年入学86卒。春の山中湖オリキャンで大学生活をスタート、4年間を文京区白山の男子寮で過ごす。全社ゼミという自主ゼミでは保育問題を学ぶ。正規のゼミは京極ゼミ、石井ゼミ、古川ゼミ。大学近くの原宿商店街に「長屋門」「くぼた2号店」などの居酒屋があり、自分は「テリヤキハウス」アルバイトで生計をたてる。



社大大好きで長期在籍

齋藤一帆さん 静岡県生まれ、2023年卒の入職1年目。サークルは軽音楽部のベースギタリストやステップタイム(生徒の居場所と学びを支援する学生有志団体)に所属。在学時は内田宏明先生のゼミでした。



軽音のベースギタリスト、YouTube! 居場所と学びを支援する学生有志団体に所属。



原宿最後の入学生

森下繁さん 地元大田区生まれ、学部32期、1992年卒。サークルは準硬式野球部・軽音楽部、ゼミは京極・高澤ゼミでした。卒業後、福祉機器メーカー、生活困窮者支援事業系の企業組合等を経て1999年当法人に入職。様々な事業所を経て、現在は、グループホーム整備担当課長として新規ユニット建設や法人の各種PT(プロジェクトチーム)に携わっています。

Q. 入職された理由や仕事の内容は?

齋藤さん 学校配属のワーカーを目指しましたが、社会人一年目では難しいと考え、就職説明会で大田幸陽会のブースにてお話を伺い、関心を持ち応募しました。現在は就労B型施設の支援員として、利用者と一緒に作業や公園清掃などの業務を行っています。

Q. 心がけていること。やりがいなど

佐藤さん 法人理念にも掲げている「だれもが幸せに」を具体的なそれぞれの事例で考えるようにしています。障がい福祉は、人間の「発達・成長も」「高齢化も」「生きがい(生きる意味)」についても学べる「生涯福祉」と感じています。

森下さん スマイルを創り出すこと。また、目の前の人が困っている時、知識と経験を度胸(決意)で支え、様々な繋がりを作り出れるところまで寄り添う事を心掛けています。様々な支援や事業を通して、その人らしさに近づけることができ、結果、その人とチームの皆にスマイルが生まれた時にやりがいを感じます。

Q. 仕事の魅力やこれからの目標など

齋藤さん 毎日利用者の方達と関わることで、様々な表情や一面を見ることが出来るのが魅力だと思います。イベント

や行事に参加した際は、普段とは違った良い表情をいくつも見ることが出来るので嬉しかったです。普段の作業中でも、利用者との何気ない会話でエネルギーを貰っています。個人的な目標として、精神保健福祉士に関心があります。

Q. 同窓会の『OB・OGとの交流会』に参加されてのご感想・意見をお聞かせください

齋藤さん 卒業した学校には殆ど顔を出してこなかった為、卒業式の日「ここに来るのももう最後かな」と考えていました。その数か月後にOB、OGや先輩と関わることが出来てとても幸福な時間でした。

佐藤さん やはり顔を見て声を聞き、呼吸を交わす対面の実施はいいですね。また、最近では、結構当法人の理念や福利厚生の実現度が気に入ったという応募者が多いこともうれしいことの一つです。清瀬からは大田区が未知のエリアなので、大田の社会福祉法人(40以上あります)の連携活動や公益的取り組みもお伝えしたいです。

在校生への応援メッセージ!!

齋藤さん 有り余る時間を自由に楽しく過ごしていただけたら「大学は人生の夏休み」という言葉がありますが、まさにその通りだと感じています。

ます。勉学に励むことを唱えなければと思いつつ、何せ夏休みですので…。何をしてもいいと思います。私自身音楽や楽器が大好きで、そこから仲良くなった人達と今でも一緒にお酒を飲み、そういった時間が人生の財産になると考えています。

森下さん 『よく学び・よく遊べ、そしてよく泣き笑え』かな!?

学生時代の様々な学びと経験は、今後の人生にとって必要な想像力(共感力)＋実践力＋耐性(≒様々な事を受け止める力)のベース作りになると思います。たくさんさんの喜怒哀楽を得られるように学生生活を充実させてください!

佐藤さん 『社大での経験が未来を支えてくれる』
社大が蚕の繭(コクーン)のように当時の自分を守ってくれていたと振り返っては感謝をしています。古川孝順先生、実習助手の村井さん(当時)には大変お世話になりながらお礼も言えておりませんが、お元気ででしょうか。佐藤は元気にやっています。社大での経験・学び・交友関係が、きっと未来の自分を支えてくれると思います。



母校のさらなる発展に向け取組を推進

10月27日

本年度事業計画の主要項目などを議題として意見交換と情報共有を行いました。

第1回運営委員会・事務局合同会議

- 同窓会活動等補助費交付規定について
- 社会福祉セミナーの推進について
- 2024年「福祉現場で活躍するOB・OGとの交流会」の実施結果等について
- 母校創立80周年記念事業について

80周年記念事業 第2回実行委員会

- 企画会議：記念事業の構想



支部活動報告

岩手県支部 支部総会・懇親会

令和6年12月14日。ホテルメトロポリタン盛岡ニューウイング。社会福祉学部倉持香苗准教授が母校の近況報告。

(支部長 右京昌久)

福島県支部 講演会・支部総会

令和6年11月24日。ホテルニューパレス。障がい者虐待防止研修会：共催：会津若松市。

専門職大学院曾根直樹教授の講演。参加者65人。

支部総会：山本智同窓会監事による母校、同窓会の近況報告と社大校歌。参加者13人。

(支部長 菊地恵子)

熊本県支部 福祉公開講演会

令和6年10月12日。くまもと県民交流館パレア。

社会福祉法人リデルライトホーム小笠原嘉祐理事長の講演。参加者40人。

(支部長 谷口千代子)

通信で福祉の専門資格を取得し、キャリアアップをめざしませんか

2025年4月入学出願受付中

社会福祉士養成課程
精神保健福祉士養成課程
社会福祉主事養成課程

🔍 日本社会事業大学 通信 🔍

お問い合わせ
日本社会事業大学通信教育部
〒204-8555
東京都清瀬市竹丘3-1-30
TEL 042-496-3200
<https://tsushin.jcsw.ac.jp/>

同窓会「五味基金」による学生支援奨学金について

この奨学金は、本同窓会「五味基金」から2025年度に日本社会事業大学社会福祉学部に入学者の新入生に対し、1名につき50万円を奨学金として支給する奨学金事業です。

助成基準は、「児童養護施設に入所されている児童」が対象となります。社大入学予定者で候補者がいる場合は、同窓会事務局に電話等で連絡・相談ください。

【お問い合わせ】 日本社会事業大学同窓会
TEL:042-496-3053 E-mail:kouyu@jcsw.ac.jp

抽選で10名様に

同窓会オリジナル「ポロシャツ」プレゼント!

胸に小さくJCSWdousoukaiのロゴが入っています。色はネイビー1色。男女共用。サイズは「M」と「L」の2種。ご希望者は住所・氏名及びポロシャツ「M」と「L」の希望を次のあて先までご連絡ください。

〈郵便の方〉 〒204-8555 清瀬市竹丘3-1-30
日本社会事業大学同窓会

〈FAXの方〉 042-496-3051

〈E-mailの方〉 kouyu@jcsw.ac.jp

“母校・在校生への支援”のため 会費納入にご協力を

同窓生の皆様には会報に同封されている「同窓会年会費」納入用紙をお使いいただき、同窓会の学生教育支援などへのご支援、ご協力をよろしくお願い申し上げます。

同窓会会長 竹田幹雄

スマートフォン決済。バーコードをアプリでかざすだけ!

今までと同じ振込用紙で郵便局やコンビニでお振り込みされる他、スマートフォン決済ができます。※「スマートフォン(アプリ決済)」をご利用の場合は、振込用紙裏面をご確認の上ご利用ください。

